

おおさかの 住民と自治

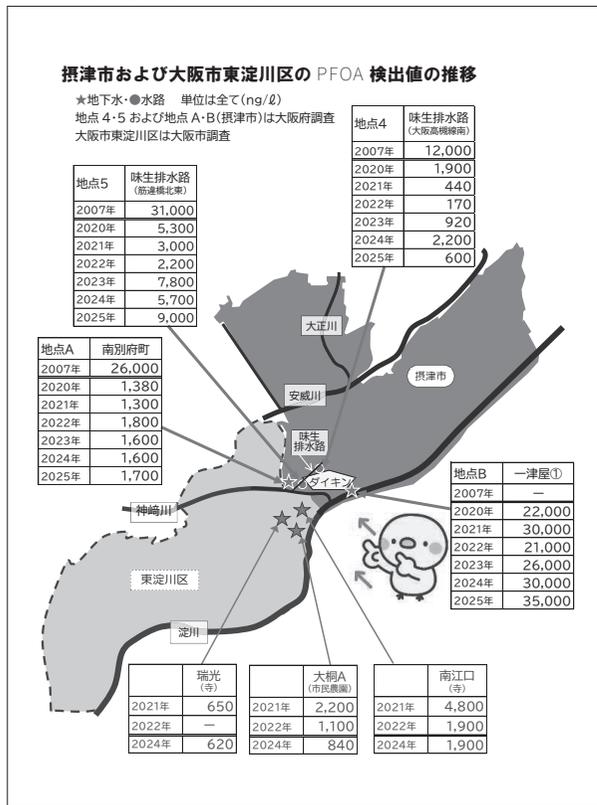
2026. 2
(通巻第567号)

発行：
一般社団法人
大阪自治体問題研究所
(発行人：梶 哲教)
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15
大阪グリーン会館5F
TEL 06 (6354) 7220 FAX 06 (6354) 7228
http://www.oskjichi.or.jp/
定価200円(消費税含む)
会員は会費に含まれます

ダイキンPFAS公害調停にぜひご参加を!

ダイキンPFAS公害調停をすすめる会
大阪PFAS汚染と健康を考える会 長岡ゆりこ

図① 摂津市および大阪市東淀川区のPFOA検出値の推移 (長岡プロット)



大阪のPFAS公害は
汚染源の特定が特徴

令和の公害と言われるPFASが、ニュース等で広く知られるようになってきました。PFASとは1万種類以上ある有機フッ素化合物の総称で、自然界には存在せず、人工的に作り出された化学物質です。分解されにくく、蓄積しやすい特性から永遠の化学物質「フォーエバーケミカル」と呼ばれています。油や水を弾くため、工業用品、家庭用品に幅広く

使用されています。例えば、焦げ付かないフライパンなどの調理器具、衣類や家具、カーペット、ハンバーガーの包み紙などや化粧品にも使われています。

全国に広がるPFAS汚染ですが、大阪におけるPFAS汚染は主にダイキン工業淀川製作所(摂津市)が長年にわたって製造してきたPFOAの汚染であることは、企業側も認める事実です。現にダイキン工業を中心として地下水汚染が広がっていることが、国や府、大阪市などの調査で明らかになっています(図①)。

PFOAは、日本で規制されている3 P F A S（P F O A・P F O S・P F H x S）の一つで、P F A Sの中で最も毒性が強い物質です。

P F A S汚染は、①企業由来の汚染、②米軍基地・自衛隊など泡消火剤の汚

染、③産業廃棄物などによる汚染、に大きく分類されます。①企業由来では、◆ P F A S製造企業……大阪のダイキン工業やデュボン社テフロン部門の子会社「三井ケマーズフロプロダクツ」がある静岡市清水区など、◆ P F A S使用企

業……繊維業、塗装・印刷業、台所用品メーカーなど多岐にわたり、特に洗浄剤としてもP F A Sを使用する半導体企業の周辺では汚染が深刻、という状況です。

大阪の汚染実態を把握しようと、大阪P F A S汚染と健康を考

える会では、2023年に1190人のP F A S血液検査を実施しました。P F A S問題の先駆者である、小泉昭夫京大名誉教授、

原田浩二京都府立大学教授（当時は京大准教授）とご一緒に取り組み、その後も追加調査を重ねて1300人を超えています。調査結果の特徴を3点ご紹介します。

1つ目は、ダイキン工業淀川製作所が建つ摂津市一津屋付近に長年居住し、地元野菜を食べていた方が、地元野菜摂取なしの方より明らかにP F O A血中濃度が

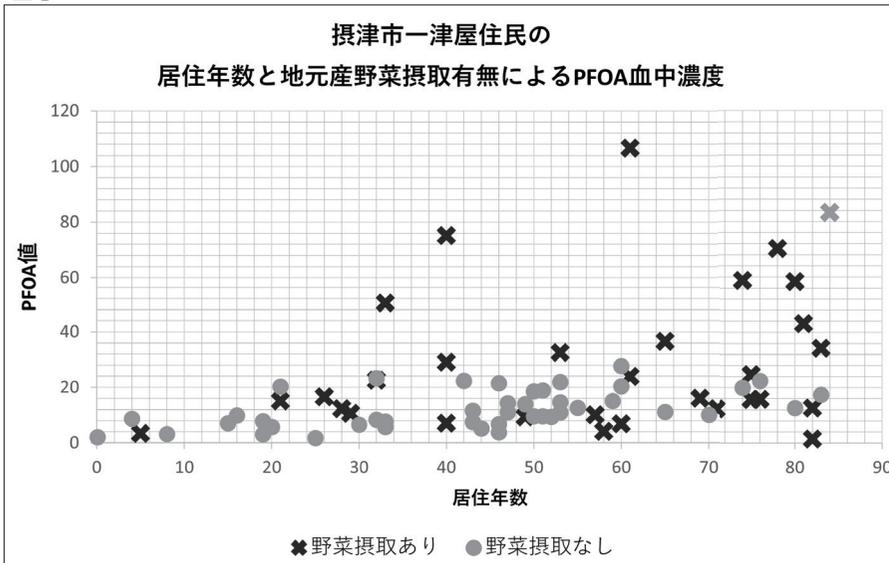
高い結果が得られたこと（図②）。2つ目は、大阪府内全域でP F O Aの平均血中濃度が、全国平均を上回っていること。3つ目は、ダイキン工業の元・現労働者の中に、間質性肺疾患の割合が高かったことです。間質性肺炎は一般に有病

率が10万人に10人といわれますが、ダイキン工業でP F O Aを扱う粉じん作業などに従事していた方たちでは、間質性肺疾患が5人中3人にみられました。同会の専門委員会は、このP F O A血中濃度高値と、間質性肺疾患の高い割合には関連があるという研究結果をまとめ、インダストリアルヘルス誌に論文を発表しました。

大阪府へ要望書と懇談、 国政政党への公開質問状

大阪P F A S汚染と健康を考える会は、府民の健康を守る役割を果たしてと、大阪府へ①情報公開、②環境対策の実施、③大阪府が無料血液検査を実施、④内閣府の「P F A S摂取許容量案」の撤回申し入れなどを求めて要望書を提出しました。また、大阪府との懇談を2回実施し、環境農林水産部、健康医療部が出席しました。

図②



「会」から、ダイキン工業の産業廃棄物マニフェストの開示や、ダイキン工業は自社敷地内の地下水や土壌対策を行っているが、周辺の対策も必要ではないかと要望。府は「法的根拠もない中で、取り組みを自主的に進めている」とダイキン工業を擁護する姿勢にとどまりました。参加者から「摂津市民の不安にもつと応えて、情報を開示してほしい」「安全な野菜を食べたいと作ってきたが、PF OAの汚染を知りショックを受けている」と、切実な声を届けました。

PFAS汚染対策をすすめる運動の中で、地元住民のみなさんから「超党派で問題解決にあたってほしい」という声をよくいただきます。思想信条を超えて、子ども達が安全にくらせる地域を作るために力を合わせる必要があると、ひしひしと感じる毎日です。

「会」の市民講座で「企業由来のPF OA汚染に立ち向かう全国交流会」を実施した際、参加のみなさんに国政政党への公開質問状を呼びかけ、全国22団体の連名で実現しました。日本のPFAS規制値の強化や、大規模な環境影響評価・血液検査の実施などについて意見を求め、5つの政党から「予防原則に則り規

制の強化が必要」「国主導による水・土壌などの広域調査と汚染源の特定、情報公開が必要」「血液検査は、国が中心となって進めるとともに、汚染を出した企業も責任をもって調査に取り組むことが大切」などの回答が寄せられています。超党派の取り組みを求めつつ、運動する私たちも全国の連帯を強めることが重要と、神戸・明石、岡山、静岡など、汚染が深刻な地域同士エールを送りあい、情報を交換しながら活動を進めているところです。

ダイキンPFAS公害調停が 始まります

積み重ねてきたPFAS汚染ストップの運動が、いよいよ大きな局面を迎えています。PFASの製造者であり、汚染源として知られるダイキン工業淀川製作所を相手取り、「公害調停」を申し立てようと、12月13日に「ダイキンPFAS公害調停をすすめる会」が発足しました。

「公害調停」は訴訟とは異なり、『話し合い』で解決をはかる公害紛争処理制度です。申請人が大阪府公害審査会に申し立てを行い、公害審査会が指定する3人

（法律・公衆衛生・産業技術等の学識経験者が内容に応じて指名される）が調停委員となります。今回でいえば、私たち（申請人）とダイキン工業（被申請人）の間に調停委員が立って、PFAS汚染について公式に話し合う場を設けるということになります。

大企業であるダイキン工業に、個人の私たちが話し合いを求めていくわけですから、申請人がたくさん集まって声をあげないと相手にしてもらえない可能性があります。「象にアリが立ち向かうようなもの」なので、一人ひとりの声は小さくとも1000人以上の申請人が集まって申し立てていきたいと考えています。

私たち申請人の思いを束ねてくださるのは、池田直樹弁護士、望月康平事務局長を中心に、ベテラン・若手の弁護士さんたち8人の弁護士です。PFAS汚染について学習を重ねて申請書の文書作成、地域で開かれる学習説明会の講師など、日夜忙しく走り回ってくださっています。今回の公害調停ではまず①ダイキン工業が持っている一切の資料開示、②継続的な環境調査・健康調査、③住民参加の協議会による汚染対策・被害者補償の枠組みを作る、の3点を要望します。

公害調停にあなともご参加を

今回の公害調停に参加する申請人は、ダイキン工業淀川製作所が出した水質汚染・地下水汚染・大気汚染等の環境被害・健康被害を心配する、直接被害を被ったと感じている方々が対象です。もちろん、以前近くに住んでいたとか通っていたという方もOKです。「家族がダイキンに勤務しお世話になっていている。先祖代々これからも住み続けられるように、



公害審査会に申請書を提出（12月23日）

双方円満に」「PFAS血中濃度が高かったのは、学童の指導員として堤防を走り回っていた時に大気汚染の影響を受けただからではないか」「浄水器をつけたが、血中濃度が下がらない」など、様々な思いが寄せられています。ご自分も対象に入ると思う方は、ぜひ一緒に申請人になって声をあげましょう！

また、公害調停はあくまで、双方の信頼関係の上に話し合いを進めていくことが前提なので、当事者である申請人以外には公開しない情報が出てきます。タイムリーに情報を知りたい方も、ぜひ申請人に名乗りを上げていただきたいです。

申請人、サポーターへの登録用紙はホームページ（QRコード）からダウンロードしていただけます。今後いろいろな情報もアップしていきますので、ご注目ください！



この原稿を書いている2025年12月23日に、大阪府の公害審査会に803人の申請人と8人の弁護士で申請書と委任状を提出しました（写真）。第1回目の調停日は、春ごろになりそうです。それまでにさらなる申請人を組織し、2次3

次と積み上げていきます。また、このダイキンPFAS公害調停を支えてくださるサポーターには、全国（世界各国）どこからでも、どなたでもなつていただけます。物心両面での支援を広く呼びかけています。

「1人の1000歩より、1000人の1歩で」を心に、粘り強く運動を進めていきたいと思えます。手を携えて大きな山を動かす運動をご一緒に！みなさまのご参加を心から呼びかけます。

ダイキン PFAS 公害調停にあなともご参加を！

ダイキン工業によるPFAS汚染が広がる摂津市・大田市東淀川区を中心に周辺住民によって、ダイキン工業に対し公害調停（公道な話し合いの場）を申し立てます。1000人規模の申請人を募るとともに、サポーターも大募集します！「ダイキンPFAS公害調停をすすめる会」への活動支援をよろしくお願ひします！

■参加方法①

申請人になろう！

◆ダイキン工業が出したPFAS汚染に対し、自分の不安や思いがあれば、申請人になります。

◆淀川製作所が出した水質汚染・地下水汚染・大気汚染等の環境被害・健康被害を心配する方々が対象です。周辺住民・以前住んでいた・通勤している…などでもOK！（申請人の参加費は2000円です）

◆申請セットのお申し込みは下記連絡先にお願ひします

■参加方法②

サポーターになろう！

◆ダイキンPFAS公害調停に、賛同する方、応援したいと願っていた方は、全国どこからでも、どなたでもサポーターになれます。物心両面での支援をよろしくお願ひします！

◆サポーターの役割は…
寄付金：カンパは一口1000円から募集しています。活動資金がなし中、非営利も含め自発的に動いているのが現状です。ぜひ多くの援助をお願いします。報告集会への参加や、すすめる会のニュース配布など公害調停を知らせる活動に積極的にご参加ください！（ワグ直がサポーター登録用紙です）

連絡先：ダイキンPFAS公害調停をすすめる会

〒541-0054 大阪市中央区南港町2丁目1番8号 新達南ビル2階 大阪PFAS汚染と健康を考える会 気付
TEL 06-6268-3970（FAX）06-6268-3977 携帯 090-8376-1215（長崎）